

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／プロダクトデザイン専攻											
デザイン実習1 A											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	加賀 武見			実務経験		職種	プロダクトデザイナー				
担当教員紹介											
担当教員は、商品開発の基本をミラノで習得し、商品の供給から販売までの業務に携わることで、デザインの役割を深く理解し、キャリアを積んだ後、企業と商品企画した経験を基に授業を展開している。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、プロダクトデザインの導入として基礎的なプロダクト製品の提案をします。簡単な造形で加工しやすい木材を素材として、サイズ、形態、仕上げなどから理解を深め、試作制作のトレーニングを行い、これから経験していく仕事の現場で、役に立つデザイン企画制作を行い、モデリング技術を身に着けるようになります。デザイン提案を人に伝達していくプレゼンテーションを行い、実践的に学びます。積極的に学び、機能と形の適正を考えてデザインすることができるようになるのがねらいである。											
到達目標											
学生が、基礎的なプロダクトデザインの実習から企画、提案を学び、形や機能に適正なデザインを行います、業界で活躍するために必要になる基本技術を向上させます。プロダクトデザインをアイデアから、コンセプトを考え、スケッチ、モデリングと丁寧な作業で完成させます。デザインを企画提案するトレーニングを行います。一連のデザインの流れを把握して実施できることを目標にしている。											
授業方法											
授業では、プロダクトデザインの基礎的な内容を講師から解説を受け、出題される課題、木製の文具とカトラリーを制作して、段階的にモデリング技術を向上する授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「プロダクトデザインの企画提案」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「デザイン提案」を自分自身で実践し、プレゼンテーションができるようになることを目指す。											
成績評価方法											
課題完成度	50%	制作物の発表方法、内容について評価する									
プレゼン	20%	提出課題完成度を総合的に評価する									
リサーチ	20%	制作準備と過程を評価す価									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
基礎を習得した学生に製品づくりを通じて、プロダクトデザインに触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。製品づくりを知り、今後、現場で求められるスケッチ、材料加工の技術の修得に推移を考えた初段階の実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	「ペーパーナイフ」 課題説明 デザインリサーチ コラージュ										
第2回	「ペーパーナイフ」 アイデアスケッチ										
第3回	「ペーパーナイフ」 ユーザー設定 要求項目										
第4回	「ペーパーナイフ」 ラフモデル 検証										
第5回	「ペーパーナイフ」 モデル 加工 仕上げ										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科/プロダクトデザイン専攻	
デザイン実習 1 A	
第6回	「ペーパーナイフ」 モデル 加工 仕上げ 撮影
第7回	「木アイススプーン」 課題説明 デザインリサーチ
第8回	「木アイススプーン」 アイデアスケッチ
第9回	「木アイススプーン」 ユーザー設定 要求項目
第10回	「ペーパーナイフ」 ラフモデル 検証
第11回	「木アイススプーン」 モデル 加工 仕上げ
第12回	「木アイススプーン」 モデル 加工 仕上げ 撮影
第13回	プレゼンテーションデータ
第14回	プレゼンテーション提出
第15回	プレゼンテーション発表